1 分校経営計画

(1) 教育理念

個々の特性や発達段階に応じて、それぞれの可能性を最大限に広げるとともに、社会参加や自立に必要な知識・技能・態度の育成を図り、一人ひとりの自己実現を支援する

(2) 合言葉

「いっしょけんめいに なにかができる人」

(3) 学校教育目標（目指す児童生徒像）

「自分らしく のびやかに たくましく」

(知) 確かな学力：自分らしく学ぶ姿

多様な人・もの・ことと関わりあいながら興味関心や思考の幅を広げたり、対象への理解を深めたり、考えを表現したりして主体的に学ぶ姿

(徳) 豊かな心：のびやかな姿

変化に対応したり多様性を受け入れたりしながら、誰とでも、どんなところでも自分の力を発揮し、進んで課題を解決しようとする、柔軟で力強い姿

(体) 健やかな体：未来に向かってたくましく生活する姿

どんな状況や環境、どんな社会や時代の変化においても、生活習慣を整えたり、心を安定させたり、体の機能を保持・増進したりしながら、たくましく生活する姿

(4) 目標具現化の柱

ア 授業力 自己実現に向け、自分らしく学ぶ、12年間のつながりある指導が充実する学校

イ 安心力 人、もの、ことに対する想像力が働き、皆が安心して過ごせる学校

ウ 共創力 コミュニティースクールとして、家庭・地域とともに、発展する学校

エ チーム力 教職員のチーム力で、課題に向かって前進する働きがいのある学校

(5) 本年度の取組 キーワード カラフルにチャレンジ

取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア 夢と希望を育む指導と支援が12年間つながるシステムづくり	・児童生徒が活用できるキャリアパスポートの充実	・保護者はキャリアパスポートを見たり読んだりして、児童生徒の頑張りの様子や好きなこと得意なことがよくわかると答える。	キャリア支援課
自分らしく学ぶ知的障害の児童生徒の思考に沿った授業づくり	・学習指導要領に示された資質能力を確かに身につけるための年間指導計画の見直しと学習指導要領を踏まえた授業づくり ・単元づくりに着目し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実した授業づくり ・BYOD機の活用推進	・生徒は学校が楽しい、授業が分かり、やる気が出ると答える又は、そのようなあらわれがみられる。	生徒課
		・生徒は、検索ツールとしてだけでなく、実践の記録ツールや自分の考えの発信ツールとしてICTを使っている。	教務課

イ	社会の変化に対応し、人、もの、ことに対する想像力を育てる教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> 安全全体計画(防災計画、食育計画、学校保健計画、人権全体計画、道徳全体計画)の策定 保健体育の授業が充実するよう、施設、用具、教材の保管場所の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は緊急時に自分がとるべき対応がわかり、命を守る行動がとれている。 	生徒課
			<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、自他を大切に思う発信ができています。 	生徒課
			<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、性や食に関心を持ち、自分を大切にしている生活ができています。 	教科委員会 (保健体育)
	柔軟でたくましい心と体を育む体育と情操教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 美術や音楽、学校行事でつながる共生共育を小山分校と共に企画、実践 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、体育・音楽・美術の授業や学校行事で、自分や友達の良さを見つけたり、仲間と取り組む楽しさを味わったりして発信しあったり、共に影響しあったりしている。 	教科委員会
ウ	地域と目的を共有する開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会と協働し、小山地区の分校としての在り方を考察 地域資源の発掘と連携 	<ul style="list-style-type: none"> 小山町民や近隣関係機関の方が小山分校生徒の教育活動について知っている。 	学校運営協議会 管理職
		<ul style="list-style-type: none"> 小山高校のニーズに応じた教育相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小山高校の教員は、生徒理解や支援に有益な情報を得ることができている。 	生徒課
エ	働きやすい職場環境で、やりがいを感じ、ワークエンゲージメントの向上を実現するチーム作り	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営組織の考察 働きやすい職員室環境、情報環境の整備 職員関係の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は、自分の事務研修(空き)時間を活用し、帰宅時刻を自分で決めて、気持ちよく働くことができている。 	管理職 全職員 全分掌
		<ul style="list-style-type: none"> 実践の中でOJTを充実し、専門性の向上を図る やって得するポジティブタイム(不祥事根絶研修 本校との共同開催 ZOOMの活用) ICT活用指導力、セキュリティ意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は、各自研修テーマを持ち、主体的に研修している。 	学部 管理職